

(様式第 10)

27 医大病第 348 号
平成 27 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学 印
理事長 菊地 臣一

福島県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒960-8055 福島市野田町 1 の 1 4 の 2 2 5 5
氏 名	菊地 臣一

(注) 開設者が法人である場合は、「所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

公立大学法人福島県立医科大学附属病院

3 所在の場所

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地 電話 (024) 547-1021
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 循環器内科、2 血液内科、3 消化器内科、4 リウマチ内科、5 神経内科、6 呼吸器内科、 7 漢方内科、8 腫瘍内科、9 小児科腫瘍内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科、2 呼吸器外科、3 乳腺外科、4 小児外科、5 心臓血管外科、6 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	7産婦人科
⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科、2 リハビリテーション科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
49床	2床	14床	1床	713床	778床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	354人	74.9人	428.9人	看護補助者	58人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	3人	5.5人	8.5人	理学療法士	12人	臨床検査技師	67人
薬 剤 師	32人	0.6人	32.6人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	10人	その他	0人
助産師	36人	0人	36人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	649人	16.8人	665.8人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	1人	2.7人	3.7人	栄 養 士	2人	その他の技術員	12人
歯科衛生士	2人	0.4人	2.4人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	103人
管理栄養士	9人	0人	9人	診療放射線技師	44人	その他の職員	128人

(注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	69人	眼科専門医	12人
外科専門医	46人	耳鼻咽喉科専門医	17人
精神科専門医	11人	放射線科専門医	11人
小児科専門医	30人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	20人
泌尿器科専門医	11人	麻酔科専門医	16人
産婦人科専門医	15人	救急科専門医	13人
		合 計	287人

(注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	568.5人	5.2人	573.7人
1日当たり平均外来患者数	1,381.0人	38.5人	1,419.5人
1日当たり平均調剤数			813.5剤
必要医師数			146人
必要歯科医師数			3人
必要薬剤師数			21人
必要(准)看護師数			355人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	12時	心電計	(有)・無
集中治療室	270.1 m ²	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
			病床数 12床			
無菌病室等	[固定式の場合] 床積 103.16m ² [移動式の場合] 台数 台	病床数 13床				
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 42.3m ²	共用室の場合] 共用する室名				
化学検査室	938.1 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置東芝C16000-			
細菌検査室	86.2 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動細菌同定感受性装置AwaikAway96Plus他			
病理検査室	25.7 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動固定包埋装置、自動染色装置、顕微鏡 ミクロトーム・クリオスタット			
病理解剖室	121.4m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、医療用照明灯、電動棚			
研究室	114.5m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡			
講義室	522.7m ²	鉄筋コンクリート	室数 2室	収容定員 459人		
図書室	1,954m ²	鉄筋コンクリート	室数 4室	蔵書数 22万2,000冊程度		

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	82.8%	逆紹介率	62.9%
算出根拠 A: 紹介患者の数	10,555人		
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,709人		
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	900人		
D: 初診の患者の数	13,842人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	25人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	15人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	22人	・原発性胆汁性肝硬変	19人
・全身性エリテマトーデス	81人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	0人
・再生不良性貧血	16人	・混合性結合組織病	12人
・サルコイドーシス	40人	・原発性免疫不全症候群	2人
・筋萎縮性側索硬化症	13人	・特発性間質性肺炎	28人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	72人	・網膜色素変性症	0人
・特発性血小板減少性紫斑病	34人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	0人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	37人	・神経線維腫症	4人
・大動脈炎症候群	7人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	1人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	6人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	12人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	24人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	0人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	48人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3人
・後縦靭帯骨化症	6人	・肥大型心筋症	17人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	0人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	0人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	34人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	8人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	38人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料 (一般病棟・結核病棟;7対1、精神病棟;10対1)	・新生児治療回復室入院医療管理料
・臨床研究病院入院診療加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・救急医療管理加算	・小児入院医療管理料2
・乳幼児救急医療管理加算	・
・超救急制期脳卒中加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算2	・
・急性期看護補助体制加算50対1	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1, 2	・
・緩和ケア診療加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算(感染防止対策地域連携加算含む。)	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算1	・
・新生児特定集中治療室退院調整加算1, 2, 3	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・救急搬送患者地域連携受入加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・データ提出加算2	・
・救命救急入院料3	・
・特定集中治療室管理料3	・
・総合周産期特定集中治療室管理料	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・ヘッドアップティルト試験
・高難度難聴指導管理料	・人工膵臓
・糖尿病合併症管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん性疼痛緩和指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・がん患者指導管理料1, 2	・光トポグラフィー
・外来緩和ケア管理料	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・院内トリアージ実施料	・コンタクトレンズ検査料1
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・地域連携診療計画管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・画像診断管理加算2
・がん治療連携管理料	・ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層撮影及びポジトロン断層・磁気共鳴コンピュータ断層複合撮影
・医療機器安全管理料1, 2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・外傷全身CT加算
・持続血糖測定器加算	・大腸CT加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算IV	・無菌製剤処理料
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)(初期加算含む。)
・植込型心電図検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)(初期加算含む。)
・時間内歩行試験	・運動器リハビリテーション料(I)(初期加算含む。)
・胎児心エコー法	・呼吸器リハビリテーション料(I)(初期加算含む。)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん患者リハビリテーション料	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・精神科作業療法	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・精神科ショートケア(小規模なもの)	・補助人工心臓
・医療保護入院等診療料	・経皮的動脈遮断術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・ダメージコントロール手術
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・一酸化窒素吸入療法	・生体部分肝移植
・皮膚悪性腫瘍切除術における悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)(又は脳刺激装置交換術)	・同種死体腎移植術
・脊髄刺激装置植込術又は脊髄刺激装置交換術	・生体腎移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・膀胱水圧拡張術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・網膜再建術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・人工内耳植込術	・医療点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術
・上顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科)、 下顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科)	・輸血管理料Ⅰ(輸血適正使用加算、貯血式自己血輸血管理体制加算を含む。)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・人工肛門・人工膀胱造設術前処理加算
・経皮的冠動脈形成術	・内視鏡手術用支援機器加算
・経皮的冠動脈形成術(高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの)	・広範囲顎骨支持型装置埋込手術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・麻酔管理料(Ⅰ)(Ⅱ)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・放射線治療専任加算
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・外来放射線治療加算
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計抽出術	・高エネルギー放射線治療
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・1回線量増加加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸移動対策加算	・
・病理診断管理加算2	・
・CAD/CAM冠	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
被災地における心不全患者の在宅療法に関する研究	竹石 恭知	循環器内科・血液内科	5,000千円	補委 厚生労働省
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する多施設共同研究	竹石 恭知	循環器内科・血液内科	2,000千円	補委 厚生労働省
特発性心筋症に関する調査研究	竹石 恭知	循環器内科・血液内科	300千円	補委 厚生労働省
抗加齢に着目した難治性心不全に対する新しい治療法の開発	竹石 恭知	循環器内科・血液内科	1,400千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
バイオマーカーを用いた急性冠症候群の病態解明と早期診断確立に向けた研究	中里 和彦	循環器内科・血液内科	1,300千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
遺伝子セットを用いたMDS症例でのAML移行リスクの評価法の確立	野地 秀義	循環器内科・血液内科	1,300千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
HMGA2の造血器腫瘍異常クローン拡大・増殖における役割の解明	池田 和彦	循環器内科・血液内科	700千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
睡眠時無呼吸症候群合併及び非合併心不全患者に対する呼吸補助療法の確立	義久 精臣	循環器内科・血液内科	600千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
急性骨髄性白血病における腫瘍マーカーと予後予測遺伝子セットの探索	松本 勇人	循環器内科・血液内科	1,100千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
PDE3Aが持つ多面的な心保護作用の探索と心不全治療への応用	及川 雅啓	循環器内科・血液内科	1,500千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
梗塞後リモデリングにおけるpentraxin3とインフラゾームとの関連	鈴木 聡	循環器内科・血液内科	1,700千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
東日本大震災及び原発事故後の福島県内における循環器疾患の実態調査	鈴木 聡	循環器内科・血液内科	2,000千円	補委 公益信託循環器学研究振興基金
老化に伴う酸化ストレスと冠血管攣縮との関連について	山田 慎哉	循環器内科・血液内科	1,500千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
Hmga2トランスジェニックマウス等を用いた骨髄増殖性疾患の病態解明	植田 航希	循環器内科・血液内科	1,500千円	補委 独立行政法人日本学術振興会
逆リモデリングに着目した心臓再同期療法後心不全管理における新しいモダリティの開発	鈴木 均	循環器内科・血液内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成26年度 研究支援事業
血管内超音波で組織性状診断とバイオマーカー同定による急性冠症候群進展の機序解明	坂本 信雄	循環器内科・血液内科	500千円	補委 公立大学法人福島県立医科大学 平成26年度 研究支援事業

小計 16件

AMLの新たな層別化の試み:AML細胞における治療抵抗因子の同定	七島 晶子	循環器内科・血液内科	500千円	補委	公立大学法人福島県立医科大学 平成26年度 研究支援事業
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	大平 弘正	消化器・リウマチ 膠原病内科学 講座	1,000千円	補委	厚生労働省 科学研究費
自己免疫性肝炎における新PEPCK抗体の有用性に関する研究	大平 弘正	消化器・リウマチ 膠原病内科学 講座	1,300千円	補委	文部科学省 科学研究費
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症制御のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(I-DOIT3)	渡辺 毅	糖尿病内分泌 代謝内科	380千円	補委	財団法人 国際協力医学 研究振興財団
放射性セシウム内部被曝が糖代謝に及ぼす影響についての研究	佐藤 博亮	糖尿病内分泌 代謝内科	700千円	補委	文部科学省
重度嗅覚障害を呈するパーキンソン病を対象としたドネペジルの予後改善効果に関する研究	宇川 義一	神経内科	800千円	補委	厚生労働省
運動失調症の医療基盤に関する研究	宇川 義一	神経内科	1,000千円	補委	厚生労働省
单相性反復磁気刺激によるヒト大脳・小脳・脊髄の可塑性誘導法の開発:その基礎と臨床	宇川 義一	神経内科	1,800千円	補委	文部科学省
8連発磁気刺激:ヒト脳での可塑性誘導法	宇川 義一	神経内科	3,000千円	補委	上原記念 生命科学財団
てんかんに対する総合的な医療の提供体制整備に関する研究	宇川 義一	神経内科	350千円	補委	厚生労働省
運動皮質可塑性から見たパーキンソン病治療計画の立案	榎本 博之	神経内科	700千円	補委	文部科学省
神経変性疾患の病態に水チャネル-アクアポリンは関与するのか?	星 明彦	神経内科	1,100千円	補委	文部科学省
アルツハイマー病に対する磁気刺激と認知機能訓練とのハイブリッド治療の開発	村上 文伸	神経内科	2,100千円	補委	文部科学省
鳥関連過敏性肺炎における特異的IgG、IgA抗体測定の有用性に関する研究	棟方 充	呼吸器内科	24千円	補委	ファディア 株式会社
膠原病的背景を有する特発性間質性肺炎の多施設共同コホート研究	棟方 充	呼吸器内科	2研究を合わせて 200千円	補委	国立大学法人 浜松医科大学
長期酸素療法導入後の特発性肺線維症患者の予後調査と予後予測因子の前向き研究	棟方 充	呼吸器内科		補委	公立陶生病院
気管支喘息に対する喘息死の予防や自己管理手法の普及に関する研究	棟方 充	呼吸器内科	2,000千円	補委	厚生労働省 科学研究費
肺の線維化におけるbasic FGFの役割についての検討	谷野 功典	呼吸器内科	815千円	補委	公益信岡本敏 記念肺線維症 研究基金
固形がん罹患率の今後の変化に関する研究	佐治 重衡	腫瘍内科学講座	1,000千円	補委	大鵬薬品 工業株式会社

小計 19件

癌に対する化学療法の研究	佐治 重衡	腫瘍内科学講座	200千円	補委	味の素製薬株式会社
がん薬物療法に関する研究	佐治 重衡	腫瘍内科学講座	400千円	補委	公益財団法人 星総合病院
膵島細胞シートを用いた複合型新生膵島組織の開発	清水 裕史	臓器再生外科	1,700千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
膵癌患者における骨髄由来抑制性細胞の影響と治療を介した免疫環境変動に関する検討	見城 明	臓器再生外科	800千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
肺癌のエピジェネティクス異常を標的とした化学療法耐性メカニズムの解明	鈴木 弘行	臓器再生外科	1,100千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Tissue Engineeringをもちいた抗腫瘍免疫応答の誘導	後藤 満一	臓器再生外科	1,500千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
イオンチャネル制御と小胞体ストレス応答制御による膵島の恒常性維持とその応用	穴澤 貴行	臓器再生外科	1,600千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
消化器がん患者に対する制御性B細胞を標的とした免疫療法の開発	佐瀬 善一郎	臓器再生外科	2,300千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死および心停止ドナーからの膵島移植	後藤 満一	臓器再生外科	43,842千円	補委	厚生労働省
標準療養不応の肺がんにも有効な新規がんペプチドワクチン療法の開発と創薬展開	鈴木 弘行	臓器再生外科	3,000千円	補委	厚生労働省
高リスク神経芽腫に対する新たな外科治療の開発	伊勢 一哉	臓器再生外科	500千円	補委	公立大学法人福 島県立医科大学 研究支援事業 (育成研究)
転写因子Heliosを用い、癌が特異的に誘導する制御性T細胞を分離する	武藤 哲史	臓器再生外科	500千円	補委	公立大学法人福 島県立医科大学 研究支援事業 (育成研究)
神経皮膚症候群に関する調査研究	齋藤 清	脳神経外科	900千円	補委	厚生労働省
神経線維腫症2型はなぜ難治？孤発例神経鞘腫との比較による分子機序解明と治療法開発	齋藤 清	脳神経外科	1,000千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
髄膜腫の悪性サブグループの発生メカニズムを解明する	岸田 悠吾	脳神経外科	788千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新たな髄膜腫細胞株・動物モデルの樹立と髄膜腫に対する新規薬剤治療法の評価	岩味 健一郎	脳神経外科	1,100千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
術中情報を統合した4Dマルチレイヤーナビゲーション・手術支援プラットフォームの開発	藤井 正純	脳神経外科	200千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会

小計 17件

運動器の痛みの客観的評価法と有用な治療法の確立に関する研究	矢吹 省司	整形外科学講座	500千円	補委	文部科学省 科学研究費
骨軟部肉腫に対する選択的cyclooxygenase-2阻害薬の効果	箱崎 道之	整形外科学講座	1,000千円	補委	文部科学省 科学研究費
運動器の臨床疫学研究	紺野 慎一	整形外科学講座	1,200千円	補委	文部科学省 科学研究費
神経再生軸策の収束・分散に関する実験的研究	上田 和毅	形成外科	780千円	補委	文部科学省
血管内皮細胞タイトジャンクションの動的評価によるウイルス感染関連脳症の病態の解明	細矢 光亮	小児科学講座	800千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
低酸素が心臓形態形成期の胎児心行動態に及ぼす影響について	桃井 伸緒	小児科学講座	1,000千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
急性・慢性腎障害の発症・進展経過におけるDAMPsの役割とその制御システムの検討	川崎 幸彦	小児科学講座	1,900千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
RSV感染症克服を目指した「RSV妊婦ワクチン」の基礎的研究	橋本 浩一	小児科学講座	900千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
難治性中枢神経感染症の発症・進展経過におけるDAMPsの役割とその制御システム	陶山 和秀	小児科学講座	1,600千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新生児慢性肺疾患の重症化に関わるマイクロRNAの同定と臨床応用への検討	郷 勇人	小児科学講座	1,700千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
川崎病におけるIL-1RA関連因子および遺伝子多型の検討と、治療薬としての可能性	遠藤 起生	小児科学講座	900千円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ワクチンによる予防可能な疾患に対する予防接種の科学的根拠の確立及び対策の向上に関する研究	細矢 光亮	小児科学講座	1,000千円	補委	厚生労働省 科学研究費
プリオン病及び遅発性ウイルス感染に関する調査研究	細矢 光亮	小児科学講座	1,000千円	補委	厚生労働省 科学研究費
造血細胞移植における肝中心静脈閉塞症(VOD)に対する本邦未承認薬defibrotideの国内導入のための研究:第I相および第II相試験(医師主導治験)	菊田 敦	小児腫瘍内科	116,722千円	補委	厚生労働省 科学研究費
強皮症の病態解明および革新的医薬品開発の研究	山本 俊幸	皮膚科学講座	500千円	補委	熊本大学
強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン作成事業	山本 俊幸	皮膚科学講座	300千円	補委	熊本大学
癌特異的アポトーシスを誘導する革新的分子標的薬による難治性皮膚癌に対する治療薬の医師主導臨床治験による実用化開発	山本 俊幸	皮膚科学講座	1,000千円	補委	大阪大学

小計 17件

腎癌に対するサイトカインシグナル制御による新しい抗体療法の開発	石橋 啓	泌尿器科学講座	1,000千円	補委	文部科学省
進行性膀胱機能障害への分子スイッチの探索	松岡 俊光	泌尿器科学講座	710千円	補委	文部科学省
腎癌の網羅的遺伝子発現解析に基づく新規予後関連遺伝子からの治療標的の探索	柳田 知彦	泌尿器科学講座	600千円	補委	文部科学省
膀胱粘膜に存在する自律収縮 その特性と過活動膀胱の新規発症メカニズムの解明	榎田 信博	泌尿器科学講座	2,300千円	補委	文部科学省
前立腺肥大症に対するゲノム薬理学に基づく個別化治療と創薬開発に向けた基礎的研究	小島 祥敬	泌尿器科学講座	1,700千円	補委	文部科学省
膀胱周囲脂肪組織を介する膀胱機能障害のメカニズム解明に立脚した新規治療の開発	相川 健	泌尿器科学講座	1,200千円	補委	文部科学省
EDならびにLUTSに対する抗酸化作用に着目した予防治療法の開発	羽賀 宣博	泌尿器科学講座	1,300千円	補委	文部科学省
サイトメガロウイルスDNA多型による腎移植後の急性拒絶反応機序の解明	鶴谷 善昭	泌尿器科学講座	1,700千円	補委	文部科学省
動脈硬化マウスと早期老化マウスを用いた経時的な排尿動態の検討	川島 洋平	泌尿器科学講座	1,200,000円	補委	文部科学省
ヒト膀胱平滑筋弛緩メカニズムの解明と蓄尿障害に対する新規治療法への応用	小川 総一郎	泌尿器科学講座	1,348千円	補委	文部科学省
東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究	丹羽 真一	心身医療科	3,500千円	補委	厚生労働省 科学研究費
双極性障害の神経病理学に基づく診断法の開発	國井 泰人	心身医療科	2,000千円	補委	厚生労働省 科学研究費
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究	増子 博文	心身医療科	5,000千円	補委	厚生労働省 科学研究費
PTSD及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究	田子 久夫	心身医療科	1,000千円	補委	厚生労働省 科学研究費
包括型脳科学研究推進支援ネットワーク	丹羽 真一	心身医療科	1,000千円	補委	文部科学省 科学研究費
成人期注意欠如/多動性障害の診断におけるCPTの有用性に関する研究	石川 大道	心身医療科	220千円	補委	文部科学省 科学研究費
統合失調症脳内タンパク質群の発現解析—タンパク質多項目同時測定システムを用いて—	國井 泰人	心身医療科	750千円	補委	文部科学省 科学研究費
ドパミン系とグルタミン酸系との調節因子DARPPのコントローラーPin1の解析	日野 瑞城	心身医療科	2,378千円	補委	文部科学省 科学研究費
統合失調症脳内タンパク質群の発現解析—タンパク質多項目同時測定システムを用いて—	國井 泰人	心身医療科	2,700千円	補委	文部科学省 科学研究費

小計 19件

統合失調症における脳脂質代謝の視覚的網羅解析	松本 純弥	心身医療科	2,384千円	補委	文部科学省 科学研究費
統合失調症の社会認知機能の包括的評価法の開発	丹羽 真一	心身医療科	600千円	補委	文部科学省 科学研究費
福島第一原子力発電所事故後の低線量被曝地域における子どもの心への発達の影響について—出生児のコホート調査—	板垣 俊太郎	心身医療科	500千円	補委	成長化学協会
統合失調症患者における抗精神病薬の効果のNIRS研究	矢部 博興	心身医療科	500千円	補委	国立精神・神経医療研究センター
自動記憶されるAuditory Sceneの時間圧縮現象の研究	矢部 博興	心身医療科	500千円	補委	公立大学法人福島県立医科大学
統合失調症脳内分子の多元解析—ジェネティックニューロパソロジー—	國井泰人	心身医療科	800千円	補委	公立大学法人福島県立医科大学
放射線による抗腫瘍免疫誘導の解明と、その増強に関する基礎的・臨床的検討	鈴木 義行	放射線治療科	1,300千円	補委	独立行政法人日本学術振興会
脳内アナンダミドが全身麻酔に及ぼす影響の検討	村川 雅洋	麻酔・疼痛緩和科	1,472千円	補委	独立行政法人日本学術振興会
薬剤耐性菌を迅速かつ簡易に検出する測定キットおよびシステムの開発	仲村 究	感染制御医学講座	1,080千円	補委	G&Gサイエンス株式会社
細菌同定キット「FDS-25」の臨床検体適応性評価	金光 敬二	感染制御医学講座	1,000千円	補委	扶桑薬品工業株式会社
微細緑藻類による放射性物質除染法開発とその発癌抑制効果	志村 浩己	検査部	1,058千円	補委	独立行政法人日本学術振興会

小計 11件
合計 99件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	原田 佳代	循環器・血液内科	Clinical Lymphoma, Myeloma & Leukemia 14, e69-e72, 2014	Clinical Lymphoma, Myeloma & Leukemia 14, e69-e72, 2014
2	横川 哲朗	循環器・血液内科	A case of acute myocardial infarction during perioperative period of non-cardiac surgery in a patient with antiphospholipid syndrome and a history of coronary artery bypass surgery	Journal of Cardiology Cases 9, 189 191, 2014
3	植田 航希	循環器・血液内科	Inhibition of histone methyltransferase EZH2 depletes leukemia stem cell of mixed lineage leukemia fusion leukemia through upregulation of p16	Cancer Science 105, 512-519, 2014
4	池田 和彦	循環器・血液内科	Peripheral blood progenitor cell collection by two programs for autologous and allogeneic transplantation	Transfusion 54, 1235-1242, 2014
5	三阪 智史	循環器・血液内科	Significance of soluble lectin-like oxidized LDL receptor-1 levels in systemic and coronary circulation in acute coronary syndrome	BioMed Research International 2014, 649185, 2014
6	小林 淳	循環器・血液内科	The ascending aorta pseudoaneurysm with myocardium rupture complicated with prosthetic valve infective endocarditis after aortic valve replacement	Journal of General Practice 2, 1000155, 2014
7	佐藤 崇匡	循環器・血液内科	The prognostic significance of serial renal function measurements in chronic heart failure	Journal of General Practice 2, 1000156, 2014
8	義久 精臣	循環器・血液内科	Impact of sleep-disordered breathing on heart rate turbulence in heart failure patients	PLoS One 9, e101307, 2014
9	八巻 尚洋	循環器・血液内科	Impact of the Great East Japan Earthquake on acute myocardial infarction in Fukushima prefecture	Disaster Medicine and Public Health Preparedness 8, 212-219, 2014
10	阿部 諭史	循環器・血液内科	Liver dysfunction assessed by model for end-stage liver disease excluding INR (MELD-XI) scoring system predicts adverse prognosis in heart failure	PLoS One 9, e100618, 2014
11	山田 慎哉	循環器・血液内科	Predictive impact of the decreasing rate of intrathoracic impedance in worsening chronic heart failure	Journal of Interventional Cardiac Electrophysiology
12	中村 裕一	循環器・血液内科	Tuberculous endocarditis complicated with acute respiratory distress syndrome: a case report	Journal of General Practice 2, 1000160, 2014

小計 12件

13	鈴木 聡	循環器・血液内科	Adaptive servo-ventilation therapy improves prognosis in heart failure patients with anemia and sleep-disordered breathing	International Heart Journal 55, 342-349, 2014
14	高橋 裕志	循環器・血液内科	Pleural solitary fibrous tumor complicated with autoimmune hemolytic anemia	Internal Medicine 53, 1549-1552, 2014
15	岩谷 章司	循環器・血液内科	Suppressive effects of adaptive servo-ventilation on ventricular premature complexes with attenuation of sympathetic nervous activity in heart failure patients with sleep-disordered breathing	Heart and Vessels 29, 470-477, 2014
16	横川 哲朗	循環器・血液内科	A case of massive pericardial effusion associated with hypocalcemic cardiomyopathy	Journal of Cardiology Cases 10, 58-61, 2014
17	大河 原浩	循環器・血液内科	Membrane type 1-matrix metalloproteinase/Akt signaling axis modulates TNF- α -induced procoagulant activity and apoptosis in endothelial cells	PLoS One 9, e105697, 2014
18	中村 裕一	循環器・血液内科	Successful endovascular treatment of chronic total occlusion of superficial femoral artery using retrograde approach from deep femoral artery	Fukushima Journal of Medical Science 60, 43-46, 2014
19	義久 精臣	循環器・血液内科	Cardiovascular function and prognosis of patients with heart failure coexistent with chronic obstructive pulmonary disease	Journal of Cardiology 64, 256-264, 2014
20	横川 哲朗	循環器・血液内科	Lone aspiration thrombectomy without stenting for a patient with ST-segment elevation myocardial infarction associated with coronary ectasia	Cardiovascular Intervention and Therapeutics 29, 339-343, 2014
21	原田 佳代	循環器・血液内科	Severe immune thrombocytopenia possibly elicited by the anti-influenza viral agent peramivir	Internal Medicine 53, 2369-2371, 2014
22	國井 浩行	循環器・血液内科	Acute coronary syndrome secondary to instant plaque rupture occurred at 9 years after deployment of bare metal stent	Journal of Cardiology Cases 10, 171-175, 2014
23	鈴木 聡	循環器・血液内科	Long-term effects and prognosis in acute heart failure treated with tolvaptan: The AVCMA trial	BioMed Research International 2014, e704289, 2014
24	清水 竹史	循環器・血液内科	Sudden cardiac arrest associated with anomalous aortic origin of the left coronary artery from the opposite sinus of Valsalva	Internal Medicine 53, 2601-2604, 2014
25	滝口 舞	循環器・血液内科	Impact of body mass index on mortality in heart failure patients	European Journal of Clinical Investigation 44, 1197-1205, 2014
26	山田 慎哉	循環器・血液内科	Prognostic value of T-wave alternans in survivors of ventricular fibrillation or hemodynamically unstable ventricular tachycardia	Journal of Arrhythmia 30, 485-490, 2014
27	杉本 浩一	循環器・血液内科	Receptor for advanced glycation end products - membrane type 1 matrix metalloproteinase axis regulates tissue factor expression via RhoA and Rac1 activation in high-mobility group box-1 stimulated endothelial cells	PLoS One 9, e114429, 2014

小計 15件

28	清水 竹史	循環器・血液内科	Cyclic variation in heart rate score by holter electrocardiogram as screening for sleep-disordered breathing in subjects with heart failure	Respiratory Care 60, 72-80, 2015
29	及川 雅啓	循環器・血液内科	Epicardial adipose tissue reflects the presence of coronary artery disease: comparison with abdominal visceral adipose tissue	BioMed Research International 2015, 483982, 2015
30	中里 和彦	循環器・血液内科	Worsening late-acquired incomplete stent apposition after sirolimus-eluting stent implantation for a chronic total occlusion lesion	Cardiovascular Intervention and Therapeutics 30, 85-91, 2015
31	原田 佳代	循環器・血液内科	Dysregulation of the MIRLET7/HMGA2 axis with methylation of the CDKN2A promoter in myeloproliferative neoplasms	British Journal of Haematology 168, 338-349, 2015
32	神山 美之	循環器・血液内科	Serum phosphate levels reflect responses to cardiac resynchronization therapy in chronic heart failure patients	Journal of Arrhythmia 31, 38-42, 2015
33	佐藤 崇匡	循環器・血液内科	Serum cholinesterase is an important prognostic factor in chronic heart failure	Heart and Vessels 30, 204-210, 2015
34	鈴木 聡	循環器・血液内科	Vasopressin V2 receptor antagonist tolvaptan is effective in heart failure patients with reduced left ventricular systolic function and low blood pressure	International Heart Journal 56, 213-218, 2015
35	引地 拓人	消化器内科	Oral rabeprazole administration on a procedure day suppresses bleeding after endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasms.	Fukushima J Med Sci 2014;60(1): 1-7.
36	横川 順子	消化器内科	Anti-nucleosome autoantibodies as markers for autoimmune hepatitis and their correlation with disease activity.	Hepato Res 2014 Apr;44(4): 420-428.
37	阿部 和道	消化器内科	The utility of IgG, IgM, and CD138 immunohistochemistry in the evaluation of autoimmune liver diseases.	Med Mol Morphol. 2014 Sep;47(3): 162-168.
38	今村 秀道	消化器内科	Echo-endoscopic analysis of variceal hemodynamics in patient with isolated gastric varices.	Endosc Ultrasound. 2014 Oct;3(4):238-244.
39	菅野 有紀子	消化器内科	Anti-phosphoenolpyruvate carboxykinase 2 antibody in patients with autoimmune hepatitis.	Hepato Res. 2014 Sep;44(9):1019-1025.
40	勝嶋 史子	消化器内科	Expression of micro-RNAs in peripheral blood mononuclear cells from primary biliary cirrhosis patients.	Hepato Res. 2014; 44(10):E129-136.
41	物江 恭子	消化器内科	Evaluation of nailfold capillaroscopy findings in patients with primary biliary cirrhosis.	Hepato Res. 2014; 44(10):E189-197.
42	SATOHI Hiroaki	糖尿病内分泌代謝内科	Yacon supplementation reduces serum free fatty acids and tumor necrosis factor alpha concentrations in patients with type 2 diabetes.	Diabetology International, 5(3), 165-174, 2014 Sep.

小計 15件

43	YAMAZAKI Satoru	糖尿病内分泌代謝内科	Liraglutide enhances insulin sensitivity by activating AMP-activated protein kinase in male Wistar rats.	Endocrinology, 155(9), 3288-3301, 2014 Sep.
44	SATOH Hiroaki	糖尿病内分泌代謝内科	Evacuation after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident Is a Cause of Diabetes: Results from the Fukushima Health Management Survey.	Journal of Diabetes Research, 2015, Article ID 627390.
45	宇川 義一	神経内科	Bidirectional effects on inter-hemispheric resting-state functional connectivity induced by excitatory and inhibitory repetitive transcranial magnetic stimulation	Hum Brain Mapp
46	宇川 義一	神経内科	Complex fasciculation potentials and survival in amyotrophic lateral sclerosis	Clin Neurophysiol
47	門脇 傑 宇川 義一	神経内科	Volitional walking via upper limb muscle-controlled stimulation of the lumbar locomotion center in man	J Neurosci
48	宇川 義一	神経内科	Effects of rTMS over presupplementary motor area on fronto-basal-ganglia network activity during stop-signal task	J Neurosci
49	宇川 義一	神経内科	The 3-second rule in hereditary pure cerebellar ataxia: a synchronized tapping study	Plos One
50	宇川 義一	神経内科	Triad-conditioning transcranial magnetic stimulation in Parkinson's disease	Brain Stimul
51	谷野 功典	呼吸器内科	A Rapid Increase in Macrophage-Derived Versican and Hyaluronan in Infectious Lung Disease	Matrix Biol
52	横内 浩	呼吸器内科	Cyclooxygenase-2 inhibitors for non-small-cell lung cancer: A phase II trial and literature review	Mol Clin Oncol
53	金沢 賢也	呼吸器内科	Phase II trial of carboplatin and pemetrexed as first-line chemotherapy for non-squamous non-small cell lung cancer, and correlation between the efficacy/toxicity and genetic polymorphisms associated with pemetrexed metabolism: Hokkaido Lung Cancer Clinical Study Group Trial (HOT) 0902	Cancer Chemotherapy and Pharmacology
54	斎藤 純平	呼吸器内科	Domiciliary diurnal variation of fractional exhaled nitric oxide for asthma control.	Eur Respir J
55	斎藤 純平	呼吸器内科	Lipid-laden bronchoalveolar macrophages in asthma and chronic cough.	Respir Med
56	斎藤 純平	呼吸器内科	Sputum-to-serum hydrogen sulfide ratio in COPD.	Thorax
57	Hayashi N Saito S.	腫瘍内科学講座	Prognostic factors of HER2-positive breast cancer patients who develop brain metastasis: a multicenter retrospective analysis.	Breast Cancer Res Treat.

58	Kurebayashi J Saji S.	腫瘍内科学講座	Clinicopathological characteristics of breast cancer and trends in the management of breast cancer patients in Japan: Based on the Breast Cancer Registry of the Japanese Breast Cancer Society between 2004 and 2011.	Breast Cancer.
59	Saji S Kimura-Tsuchiya R.	腫瘍内科学講座	Combination of molecular-targeted drugs with endocrine therapy for hormone-resistant breast cancer.	Int J Clin Oncol.
60	Toi M Saji S.	腫瘍内科学講座	Development of breast cancer therapy: biomarker-driven and response-guided approaches in a neoadjuvant setting.	Int J Biol Markers.
61	佐藤 史頭 佐治 重衛	腫瘍内科学講座	State of the Art: Genetic tumor evolution	Cancer Board 乳癌
62	Honma N Saji S.	腫瘍内科学講座	Proportion of estrogen or progesterone receptor expressing cells in breast cancers and response to endocrine therapy.	Breast.
63	Niikura N Saji S.	腫瘍内科学講座	Treatment outcomes and prognostic factors for patients with brain metastases from breast cancer of each subtype: a multicenter retrospective analysis.	Breast Cancer Res Treat.
64	Niikura N Saji S.	腫瘍内科学講座	Brain Metastases in Breast Cancer.	Jpn J Clin Oncol.
65	Takemoto K Saji S.	腫瘍内科学講座	Necrostatin-1 protects against reactive oxygen species (ROS)-induced hepatotoxicity in acetaminophen-induced acute liver failure.	FEBS Open Bio.
66	Ueno T Saji S.	腫瘍内科学講座	Evaluating the 21-gene assay Recurrence Score as a predictor of clinical response to 24 weeks of neoadjuvant exemestane in estrogen receptor-positive breast cancer	Int J Clin Oncol
67	Saji S Kimura-Tsuchiya R.	腫瘍内科学講座	Combination of molecular-targeted drugs with endocrine therapy for hormone-resistant breast cancer.	Int J Clin Oncol.
68	Fujita Y Kimura-Tsuchiya R.	腫瘍内科学講座	Incidence of lymphatic involvement in differentiated-type intramucosal gastric cancers as examined by endoscopic resection.	Gastric Cancer.
69	Kimura-Tsuchiya R Ishikawa T.	腫瘍内科学講座	The inhibitory effect of heat treatment against epithelial-mesenchymal transition (EMT) in human pancreatic adenocarcinoma cell lines.	J Clin Biochem Nutr.
70	Sawada T. Sasaki E.	腫瘍内科学講座	Long-term complete remission in a patient with intravascular large B-cell lymphoma with central nervous system involvement	OncoTargets and Therapy
71	Higuchi K. Sasaki E.	腫瘍内科学講座	Biweekly irinotecan plus cisplatin versus irinotecan alone as second-line treatment for advanced gastric cancer: A randomised phase III trial (TCOG GI-0801/BIRIP trial)	European Journal of Cancer
72	Sato Naoya	臓器再生外科	Remnant left lobe torsion causing hepatic venous outflow obstruction after hepatic right lobectomy for giant hepatocellular carcinoma: report of a case.	Fukushima Journal of Medical Science
73	Higuchi Mitsunori	臓器再生外科	A phase II study of radiofrequency ablation therapy for thoracic malignancies with evaluation by FDG-PET.	Journal of Cancer Research and Clinical Oncology

74	Hasegawa Takeo	臓器再生外科	Prognostic value of peripheral and local forkhead box P3+ regulatory T cells in patients with non-small-cell lung cancer.	Molecular end Clinical Oncology
75	Anazawa Takayuki	臓器再生外科	Long-term outcomes of clinical transplantation of pancreatic islets with uncontrolled donors after cardiac death: a multicenter experience in Japan.	Transplantation Proceedings
76	Anazawa Takayuki	臓器再生外科	Cancer registries in Japan: National Clinical Database and site-specific cancer registries.	International Journal of Clinical Oncology
77	Okabe Naoyuki	臓器再生外科	FAM83B is a novel biomarker for diagnosis and prognosis of lung squamous cell carcinoma.	International Journal of Oncology
78	Gotoh Mitsukazu	臓器再生外科	A risk model for esophagectomy using data of 5354 patients included in a Japanese nationwide web-based database.	Annals of Surgery
79	Gotoh Mitsukazu	臓器再生外科	A pancreaticoduodenectomy risk model derived from 8575 cases from a national single-race population (Japanese) using a web-based data entry system: the 30-day and in-hospital mortality rates for pancreaticoduodenectomy.	Annals of Surgery
80	Gotoh Mitsukazu	臓器再生外科	Total gastrectomy risk model: data from 20,011 Japanese patients in a nationwide internet-based database.	Annals of Surgery
81	Gotoh Mitsukazu	臓器再生外科	Risk model for right hemicolectomy based on 19,070 Japanese patients in the National Clinical Database.	Journal of Gastroenterology
82	Gotoh Mitsukazu	臓器再生外科	Mortality after common rectal surgery in Japan: a study on low anterior resection from a newly established nationwide large-scale clinical database.	Diseases of the Colon & Rectum
83	Okano M, Ohtake T, et al.	器官制御外科学講座	Upregulated Annexin A1 promotes cellular invasion in triple-negative breast cancer.	Oncol Rep
84	渡邊 督	脳神経外科	Endoscopic resection of cystic pontine tumours: three case reports and a proposal for minimally invasive dual-endoscopic surgery	Acta Neurochir 156: 1145-1150, 2014
85	Mochizuki Y.	形成外科	Successive uneventful pregnancies immediately following bilateral TRAM flap harvest	Eur J Plast Surg
86	川崎 幸彦	小児科学講座	Resistance factors for the treatment of immunoglobulin A nephropathy with diffuse mesangial proliferation	Nephrology
87	川崎 幸彦	小児科学講座	Two children with obesity-related glomerulopathy identified in a school urinary screening program	Pediatr Int
88	佐藤 晶論	小児科学講座	Sequential influenza B viral load and susceptibility in children treated with oseltamivir and zanamivir	Pediatr Infect Dis J
89	小笠原 啓	小児科学講座	Ex utero intrapartum treatment for an infant with cerebro-costo-mandibular syndrome	Pediatr Int

90	武山 彩	小兒科学講座	Clinical and epidemiologic factors related to subsequent wheezing after virus-induced lower respiratory tract infections in hospitalized pediatric patients younger than 3 years	Eur J Pediatr
91	Kobayashi S, Kikuta A, Ito M, Sano H, Mochizuki K, Akaihata M, Waragai T, Ohara Y, Ogawa C, Ono S, Ohto H, Hosoya M.	小兒腫瘍内科	Loss of mismatched HLA in myeloid/NK cell precursor acute leukemia relapse after T cell-replete haploidentical hematopoietic stem cell transplantation.	Pediatr Blood Cancer.61巻 10号 1880-1882頁
92	Kobayashi S, Waragai T, Sano H, Mochizuki K, Akaihata M, Ohara Y, Hosoya M, Kikuta A.	小兒腫瘍内科	Malignant peritoneal mesothelioma in a child: chemotherapy with gemcitabine and platinum was effective for the disease unresponsive to other treatments.	Anticancer Drugs. 25巻 9号 1102-1105頁
93	Kobayashi S, Ito M, Sano H, Mochizuki K, Akaihata M, Waragai T, Ohara Y, Hosoya M, Ohto H, Kikuta A.	小兒腫瘍内科	T-cell-replete haploidentical stem cell transplantation is highly efficacious for relapsed and refractory childhood acute leukaemia.	Transfusion Med.
94	Kobayashi S, Ito M, Sano H, Mochizuki K, Akaihata M, Waragai T, Ohara Y, Hosoya M, Kikuta A.	小兒腫瘍内科	Idiopathic Hyperammonemia That Developed During Initial Treatment With Steroid in a Patient With Newly Diagnosed Leukemia.	J Pediatr Hematol Oncol.
95	石川 真郷	皮膚科	Lichen striatus following influenza infection.	J Dermatol
96	石川 真郷	皮膚科	Bowen's disease of the nipple in a male patient.	Indian J Dermatol
97	石川 真郷	皮膚科	Cellular neurothekeoma on the lip.	Indian J Dermatol
98	平岩 朋子	皮膚科	Palmoplantar pustulosis with arthro-osteitis triggered by recurrent appendiceal abscess 5 years after appendectomy.	Int J Dermatol
99	平岩 朋子	皮膚科	Pyoderma gangrenosum triggered by iatrogenic procedures in patients with systemic diseases.	Our Dermatology Online

100	平岩 朋子	皮膚科	Superficial thrombophlebitis mimicking cutaneous polyarteritis nodosa as an early and sole cutaneous manifestation of Behçet's disease.	Our Dermatol Online J
101	大橋 威信	皮膚科	Keratoacanthoma with secondary ossification.	Int J Dermatol
102	大橋 威信	皮膚科	Acantholysis in mammary Paget disease.	Am J Dermatopathol
103	大橋 威信	皮膚科	Perforating metastatic melanoma.	Our Dermatol Online
104	大橋 威信	皮膚科	Subcutaneous sarcoidosis with underlying intramuscular granuloma.	Indian J Dermatol
105	大橋 威信	皮膚科	Auricular pyoderma gangrenosum with penetration in a patient with rheumatoid arthritis.	Int J Rheum Dis
106	大橋 威信	皮膚科	A case of chromoblastomycosis caused by Fonsecaea pedrosoi in a patient with rheumatoid arthritis.	Int J Rheum Dis
107	大橋 威信	皮膚科	Peristomal pyoderma gangrenosum: report of three cases.	J Dermatol
108	菊池 信之	皮膚科	Persistent pruritic plaques and papules associated with adult-onset Still's disease: report of 6 cases.	J Dermatol
109	菊池 信之	皮膚科	A solitary red nodule on the back: A quiz.	Acta Derm Venereol
110	菊池 信之	皮膚科	Pustular pyoderma gangrenosum: report of two cases.	J Dermatol
111	菊池 信之	皮膚科	Lupus erythematosus profundus in a patient with myasthenia gravis.	J Dermatol
112	三浦 貴子	皮膚科	Post-herpetic vitiligo in an 8-year-old boy with immunosuppression.	J Dermatol
113	三浦 貴子	皮膚科	Post-herpetic eosinophilic papules and plaques.	Int J Dermatol
114	三浦 貴子	皮膚科	Post-herpes zoster sarcoidosis.	J Dermatol
115	三浦 貴子	皮膚科	Pediatric linear scleroderma initially occurred mimicking port-wine stain.	J Dermatol
116	加藤 保信	皮膚科	Vitiliginous lesions during contact immunotherapy for alopecia in a patient with autoimmune hyperthyroiditis.	Our Dermatology Online

小計 17件

117	加藤 保信	皮膚科	Cutaneous sarcoidosis concurrently involved in the sclerotic fingers of a patient with systemic sclerosis.	J Dermatol
118	加藤 保信	皮膚科	Sacral rheumatoid nodule mimicking inflammatory atheroma.	Indian J Dermatol
119	加藤 保信	皮膚科	Stucco keratosis in a patient with esophageal cancer.	J Dermatol
120	佐藤 正隆	皮膚科	A case of symmetrical drug-related intertriginous and flexural exanthema caused by valacyclovir.	Our Dermatol Online
121	佐藤 正隆	皮膚科	Acute exanthematic generalized pustulosis possibly induced by isoniazid in a patient with psoriatic erythroderma.	Eur J Dermatol
122	大塚 幹夫	皮膚科	Bruce ulcer caused by mycobacterium ulcerans subsp shinshuense: a rare case of familial concurrent occurrence and detection of insertion sequence 2404 in Japan.	JAMA Dermatol
123	大塚 幹夫	皮膚科	Blepharochalasis showing prominent infiltration of neutrophils in dermal vessels.	J Dermatol
124	大塚 幹夫	皮膚科	Rare association of pyoderma gangrenosum and palmoplantar pustulosis: a case report and review of the previous works.	J Dermatol
125	大塚 幹夫	皮膚科	Occurrence of psoriasiform eruption during Nivolumab therapy for a patient with mucosal melanoma.	JAMA Dermatol
126	山本 俊幸	皮膚科	Reactive oxygen species and scleroderma. Systems biology of free radicals and anti-oxidants.	Edt., I. Laher (UBC, Canada). Springer-Verlag (Germany).
127	山本 俊幸	皮膚科	Sweet's syndrome and erythema nodosum possibly induced by salazopyrine.	Int J Dermatol
128	山本 俊幸	皮膚科	Epidermotropic Pagetoid spread and squamous cell carcinoma in situ in the overlying epidermis of Merkel cell carcinoma.	Our Dermatol Online
129	山本 俊幸	皮膚科	Beneficial effect of hydroxychloroquine on cutaneous lupus erythematosus in a Japanese girl.	J Dermatol
130	山本 俊幸	皮膚科	Flagellate erythema: pruritic skin conditions associated with dermatomyositis.	Journal of Symptom and Signs
131	山本 俊幸	皮膚科	Palmoplantar pustulosis associated with necrobiosis lipoidica: a possible role of tumor necrosis factor- α and interleukin-17.	J Dermatol
132	山本 俊幸	皮膚科	Granulomatous isotopic response possibly to herpes zoster in childhood.	J Dermatol

小計 16件

133	山本 俊幸	皮膚科	Bullous pyoderma gangrenosum in patients with ulcerative colitis and multiple myeloma.	Our Dermatol Online
134	山本 俊幸	皮膚科	Post-herpes zoster granulomatous reactions.	Austin J Dermatol
135	山本 俊幸	皮膚科	Generalized pustular psoriasis: a new emerging concept relating to autoinflammatory disease.	Autoimmune Diseases and Therapeutic Approaches
136	山本 俊幸	皮膚科	Basaloid follicular hyperplasia in the overlying epidermis of pilomatricoma.	Int J Dermatol
137	山本 俊幸	皮膚科	Adult-onset Still's disease: a relation with autoinflammatory disease?	Dermatology Research Advances
138	山本 俊幸	皮膚科	Hyaluronic acid in psoriasis.	J Eur Acad Dermatol Venereol
139	山本 俊幸	皮膚科	Scalp sarcoidosis mimicking organoid nevus.	Eur J Dermatol
140	山本 俊幸	皮膚科	Subcutaneous sarcoidal granuloma underlying porokeratosis in a patient with sarcoid-lymphoma syndrome.	Eur J Dermatol
141	山本 俊幸	皮膚科	Acquired cutis laxa occurring on the face after delivery.	Eur J Dermatol
142	山本 俊幸	皮膚科	Multiple halo nevi subsequent to a short period of sunbathing.	J Dermatol
143	山本 俊幸	皮膚科	The dramatic effect of dapsone on cutaneous bullous and pustular rheumatoid vasculitis on the sole.	Int J Rheum Dis
144	山本 俊幸	皮膚科	Discoid lupus erythematosus in a patient with myasthenia gravis.	Int J Rheum Dis
145	山本 俊幸	皮膚科	Pyoderma gangrenosum: an important dermatologic condition occasionally associated with rheumatic diseases.	World J Rheumatol
146	山本 俊幸	皮膚科	Granulomatous variant pigmented purpura.	Actas Dermosifiliogr
147	山本 俊幸	皮膚科	Cutaneous cryptococcosis mimicking pyoderma gangrenosum: report of 4 cases.	Acta Derm Venereol
148	花見 由華	皮膚科	Bullous prurigo pigmentosa in a pregnant woman with hyperemesis gravidarum.	J Dermatol
149	花見 由華	皮膚科	A unique case of tiny disseminated angiomas from childhood: a variant of "petechial angiomas"?	Our Dermatol Online

小計 17件

150	森 龍彦	皮膚科	Cellulitis-like skin necrosis induced by postoperative local interferon- β injection for malignant melanoma on the buttock.	J Dermatol
151	森 龍彦	皮膚科	Multiple eruptive milia in a patient with hyperpigmented mycosis fungoides.	Indian J Dermatol
152	森 龍彦	皮膚科	Late-onset pyoderma gangrenosum following surgical operation in a patient with malignant melanoma.	J Dermatol
153	森 龍彦	皮膚科	Tocilizumab-induced pustular drug eruption.	Int J Rheum Dis
154	松本 麻希	皮膚科	Pediatric generalized morphea initially developed at the BCG vaccination site.	Actas Dermosifiliogr
155	松村 奈津子	皮膚科	Fixed drug eruption due to tranexamic acid.	Indian J Dermatol
156	Kojima Yoshiyuki	泌尿器科学講座	Bladder neck sling suspension during robot-assisted radical prostatectomy to improve early return of urinary continence:acomparative analysis	Urology
157	Ishibashi Kei	泌尿器科学講座	The presence of antibodies against the AD2 epitope of cytomegalovirusglycoprotein B is associated with acute rejection after renal transplantation	Microbiology and Immunology
158	Haga Nobuhiro	泌尿器科学講座	Association between Postoperative pelvic anatomic features on magnetic resonance imaging and lower tractUrinary symptoms after radical prostatectomy	Urology
159	Akaihata Hidenori	泌尿器科学講座	Detrusor contractility prior to and after surgery of acquired bladder diverticula	Urological Science
160	Yabe H	心身医療科	Psychological Distress after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident:Results of a mental health and lifestyle survey through the Fukushima Health Management Survey in FY2011 and FY2012.	Fukushima J Med-Sci
161	Kunii Y	心身医療科	Elevated postmortem striatal T-DARPP expression in schizophrenia and associations with DRD2/ANKK1 polymorphism.	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry
162	Motoya R	心身医療科	Effectiveness of cognitive behavioral therapy based on the pain sustainment/exacerbation model in patients with tension-type headache:a pilot study.	Fukushima J Med Sci
163	Kunii Y	心身医療科	Revisiting DARPP-32 in postmortem human brain:changes in schizophrenia and bipolar disorder and genetic associations with t-DARPP-32 expression.	Mol Psychiatry

小計 14件

164	Kunii Y	心身医療科	Elevated postmortem striatal T-DARPP expression in schizophrenia and associations with DRD2/ANKK1 polymorphism.	Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry
165	Matsumoto J	心身医療科	Mental disorders that exacerbated due to the disaster, a complex radioactive contamination disaster.	Psychiatry Clin Neurosci
166	Miura I	心身医療科	Near-infrared spectroscopy and plasma homovanillic acid levels in bipolar disorder: a case report	Neuropsychiatr Dis Treat
167	Miura I	心身医療科	Switching antipsychotics to aripiprazole or blonanserin and plasma monamine metabolites levels in patients with schizophrenia.	Hum. Psychopharmacol Clin Exp
168	Miura I	心身医療科	BDNF Val66Met polymorphism and antipsychotic-induced tardive dyskinesia occurrence and severity: a meta-analysis.	Schizophr Res
169	Maeda M	心身医療科	What about the mental health of adults?	Fukushima J Med Sci
170	Suzuki Y	放射線治療科	HLA class I expression and its alteration by preoperative hyperthermo-chemoradiotherapy in patients with rectal cancer.	PLoS One
171	Suzuki Y	放射線治療科	Comparison of the radiosensitivities of neurons and glial cells derived from the same rat brain.	Exp Ther Med
172	Toju Kazuya	麻酔・疼痛緩和科	Plasma ropivacaine concentration following ultrasound-guided subcostal transversus abdominis plane block in adults.	J Anesth.
173	Suganami Azusa	麻酔・疼痛緩和科	The inhibitory effect of shakuyakukanzoto on K ⁺ current in H9c2 cells	Fukushima Journal of Medical Science
174	Okano M, Ohtake T, et al.	基礎病理学講座	Co-expression of S100A14 and S100A16 correlates with a poor prognosis in human breast cancer and promotes cancer cell invasion.	BMC Cancer
175	黒澤 伸	手術部	Coronary artery bypass grafting in a patient with hemophilia B: continuous recombinant factor IX infusion as per the Japanese guidelines for replacement therapy.	Gen Thorac Cardiovasc Surg
176	黒澤 伸	手術部	Dislocated dental bridge covering the larynx: usefulness of tracheal tube guides under video-assisted laryngoscopy for induction of general anesthesia, thus avoiding tracheostomy.	Head and Face Medicine
177	黒澤 伸	手術部	Annual FEV1 changes and numbers of circulating endothelial microparticles in patients with COPD: retrospective study.	BMJ Open
178	黒澤 伸	手術部	Glucocorticoid mediates the transcription of OAT-PG, a kidney specific prostaglandin transporter.	European Journal of Physiology

179	<p>1) Hikichi T, Watanabe K, Obara K</p> <p>2) Sato M, Nakamura J, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Waragai Y, Kikuchi H, Konno N, Takasumi M, Ohira H</p>	<p>1) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital</p> <p>2) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine</p>	<p>Oral rabeprazole administration on a procedure day suppresses bleeding after endoscopic submucosal dissection for gastric neoplasms</p>	<p>Fukushima J Med Sci, 60: 68-74, 2014.</p>
180	<p>1) Suzuki R, Takagi T, Sato A, Sato M, Ikeda T, Nakamura J, Ohira H.</p> <p>2) Irisawa A, Shibukawa G,</p> <p>3) Bhutani MS, Annangi S</p> <p>4) Hikichi T, Watanabe K, Obara K,</p> <p>5) Tasaki K.</p>	<p>1) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine</p> <p>2) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital</p> <p>3) Department of Gastroenterology, Hepatology and Nutrition, the University of Texas MD Anderson Cancer Center</p> <p>4) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital</p> <p>5) Department of Diagnostic Pathology, Fukushima Medical University School of Medicine</p>	<p>An automated spring-loaded needle for endoscopic ultrasound-guided abdominal paracentesis in cancer patients.</p>	<p>World J Gastrointest Endosc, 6: 55-59, 2014.</p>
181	<p>1) Imamura H, Takagi T, Ohira H.</p> <p>2) Irisawa A, Shibukawa G.</p> <p>3) Hikichi T, Obara K.</p>	<p>1) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine</p> <p>2) Department of Gastroenterology, Fukushima Medical University Aizu Medical Center</p> <p>3) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital</p>	<p>Echo-endoscopic analysis of variceal hemodynamics in patient with isolated gastric varices.</p>	<p>Endosc Ultrasound, 3: 238-244, 2014.</p>

小計 3件

182	<p>1) Takasumi M, Takagi T, Sato M, Suzuki R, Nakamura J, Sugimoto M, Waragai Y, Kikuchi H, Konno N, Watanabe H, Ohira H.</p> <p>2) Hikichi T, Watanabe K, Obara K.</p>	<p>1) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine</p> <p>2) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital</p>	<p>Endoscopic therapy for esophageal hematoma with blue rubber bleb nevus syndrome.</p>	<p>World J Gastrointest Endosc, 6: 630- 634, 2014.</p>
183	<p>1) Watanabe K, Hikichi T, Obara K, Ohira H.</p> <p>2) Sato M, Nakamura J, Takagi T, Suzuki R, Sugimoto M, Waragai Y, Kikuchi H, Konno N, Watanabe H.</p>	<p>1) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital</p> <p>2) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine</p>	<p>A case of endocrine cell carcinoma combined with squamous cell carcinoma of the esophagus resected by endoscopic submucosal dissection.</p>	<p>Fukushima J Med Sci, 60: 187-191, 2014.</p>
184	<p>1) Hikichi T, Obara K.</p> <p>2) Nakamura S.</p> <p>3) Irisawa A.</p> <p>4) Ohira H.</p>	<p>1) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital</p> <p>2) Department of Gastroenterology, Tokyo Women's Medical University Hospital</p> <p>3) Department of Gastroenterology, Fukushima Medical University Aizu Medical Center</p> <p>4) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine</p>	<p>Potential application of interventional endoscopic ultrasonography for the treatment of esophageal and gastric varices.</p>	<p>Dig Endosc, 27 (Suppl. 1) 17-22, 2015.</p>

小計 3件

185	1) Takagi T, Ohira H. 2) Irisawa A, Shibukawa G. 3) Hikichi T, Obara K.	1) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine 2) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital 3) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital	Intraductal ultrasonographic anatomy of biliary varices in patients with portal hypertension.	Endosc Ultrasound, 4: 44-51, 2015.
186	1) Sugimoto M, Takagi T, Suzuki R, Nakamura J, Kikuchi H, Konno N, Waragai Y, Asama H, Takasumi M, Ohira H. 2) Hikichi T, Watanabe K, Watanabe H, Obara K.	1) Department of Gastroenterology and Rheumatology, Fukushima Medical University School of Medicine 2) Department of Endoscopy, Fukushima Medical University Hospital	Efficacy of endoscopic ultrasonography- guided fine needle aspiration for pancreatic neuroendocrine tumor grading.	World J Gastroenterol, 21; 8118-24, 2015.
187	金光 敬二	感染制御医学講座	Nationwide surveillance of parenteral antibiotics containing meropenem activities against clinically isolated strains in 2012.	Jpn J Antibiot. 2014 Apr;67(2):73- 107.
188	山本 夏男	感染制御医学講座	Efficacy of 1.0% chlorhexidine-gluconate ethanol compared with 10% povidone- iodine for long-term central venous catheter care in hematology departments: a prospective study.	Am J Infect Control. 2014 May;42(5):574-6.
189	仲村 究	感染制御医学講座	Pure red cell aplasia induced by lamivudine without the influence of zidovudine in a patient infected with human immunodeficiency virus.	Intern Med. 2014;53(15):1705- 8.
190	Hiroki Shimura	検査部	Neutrophil gelatinase-associated lipocalin levels associated with cardiovascular disease in chronic kidney disease patients.	Clin Exp Nephrol.
191	Hiroki Shimura	検査部	PREVALENCE OF THYROID NODULAR LESIONS IN CHILDREN AND ADOLESCENTS	Fukushima J. Med. Sci.,
192	Hiroki Shimura	検査部	Skin Autofluorescence Is a Predictor of Cardiovascular Disease in Chronic Kidney Disease Patients.	Ther Apher Dial
193	Hiroki Shimura	検査部	Activation of the RhoB Signaling Pathway by Thyroid Hormone Receptor β in Thyroid Cancer Cells.	PLoS One
194	Hiroki Shimura	検査部	Effects of 3,3',5-triiodothyronine on microglial functions.	Glia.

195	Hiroki Shimura	検査部	Thyroid ultrasound findings in a follow-up survey of children from three Japanese prefectures: Aomori, Yamanashi, and Nagasaki	SCIENTIFIC REPORTS
196	Hiroki Shimura	検査部	Systematic determination of thyroid volume by ultrasound examination from infancy to adolescence in Japan: The Fukushima Health Management Survey	Endocrine Journal

小計 2件
合計196件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	津田 萌 佐治 重衡	腫瘍内科学講座	内分泌療法薬の作用機序と副作用:概論	日本臨床
2	河口 浩介 佐治 重衡	腫瘍内科学講座	乳がんの抗HER2療法耐性機序とその克服	がん分子標的治療
3	清水 華子 佐治 重衡	腫瘍内科学講座	抗HER2療法の新時代 ALTTO試験の結果から	腫瘍内科
4	林 直輝 佐治 重衡	腫瘍内科学講座	乳癌患者におけるアロマターゼ阻害薬と骨粗鬆症	The BONE
5	今村 知世 佐治 重衡	腫瘍内科学講座	ホルモン受容体陽性乳がんに対するタモキシフェン治療とCYP2D6遺伝子多型	がん分子標的治療
6	佐治 重衡 木村 礼子	腫瘍内科学講座	閉経前、腋窩リンパ節転移陽性、Luminal A乳癌の治療 b)術前薬物療法	外科
7	佐治 重衡 木村 礼子	腫瘍内科学講座	閉経前、腋窩リンパ節転移陽性、luminal A乳癌の治療 術前薬物療法	外科
8	野口 眞三郎	腫瘍内科学講座	乳癌の分子生物学とmTOR	メディカルレビュー社
9	小原 勝敏ほか	内視鏡診療部	出血を繰り返した肝外門脈閉塞症合併異所性静脈瘤の2例	厚生省科研費補助金(難治性疾患克服研究事業)門脈血行異常症に関する調査研究平成25年度研究報告書(分担研究報告書):120-125, 2014.
10	小原 勝敏	内視鏡診療部	食道・胃静脈瘤の治療	臨床消化器内科 29: 453-460, 2014.

合計 10件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 研究等に関する倫理審査申請に必要な提出書類や審査スケジュール、申請する際に留意すべき点などをまとめている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 委員会の設置や対象事象の審議等について規定している。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 倫理指針の内容、倫理審査申請手続き及び利益相反に係る対応等について周知している。	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

1 後期研修プログラムの特徴

- (1) コース制を導入し、コースディレクターの指導により専門医研修を受ける。
- (2) 当院と研修協力病院が共同で研修を行い、専門医資格取得に必要な多くの症例・症状等を経験できる。
- (3) 総合内科・外科専門医コースでは、専門医資格取得に必要な症例を確保するため、臓器別ローテートを実施する。
- (4) 大学院生・大学院研究生との併願を認めており、専門医と博士号の同時取得が可能である。

2 後期研修プログラムの管理・運営組織

研修の最終責任者は、当院の病院長であり、研修修了の認定は病院長が行う。

- (1) 病院長のもとに、後期研修管理委員会を設置し、次の事項を行うこととする。

ア 後期研修プログラムの全体的な管理

イ 後期研修者の全体的な管理

ウ 後期研修者の研修状況の評価

エ 採用時における後期研修希望者の評価

オ 後期研修後及び中断後の進路について、相談等の支援を行うこと

- (2) 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

ア 病院長

イ 副病院長（教育研修担当）

ウ 部長会で選任したコースディレクター 4名

エ 事務部長

オ その他病院長が必要と認める者

- (3) 委員長は必要があると認める場合、後期研修管理委員会のもとに、コースディレクター会議を招集することができる。

- (4) 委員長は、研修協力病院等との円滑な連絡調整等を行うため、研修協力病院・施設連絡会議を招集することができる。

3 研修期間

- (1) 研修期間は、卒後臨床研修修了後4年以内とし、協力病院での期間を含む。ただし、原則として研修期間のうち1年以上は、当院において研修する。

- (2) (1)にかかわらず、出産・留学等により、研修を中断した期間は、研修期間に含めない。

4 指導体制

後期研修者は研修期間中、後期研修管理委員会において管理され、コースディレクター・副コースディレクターの指導のもと研修を受ける。

5 後期研修の評価

各コースで定めた評価項目に基づき、コースディレクター・副コースディレクターは評価を行う。研修終了時に、この評価資料をもとに、後期研修管理委員会が最終的な評価を行い、病院長に上申する。

病院長は研修を修了したと認定された後期研修者に対して、病院長名で後期研修修了証を授与する。

2 研修の実績

研修医の人数	65.8	人
--------	------	---

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
竹石 恭知	循環器内科	部長	28年	
小川 一英	血液内科	部長	28年	
大平 弘正	消化器内科	部長	28年	
渡辺 浩志	リウマチ・膠原病内科	部長	25年	
中山 昌明	腎臓・高血圧内科	部長	31年	
渡辺 毅	糖尿病・内分泌代謝内科	部長	40年	
宇川 義一	神経内科	部長	37年	
棟方 充	呼吸器内科	部長	38年	
鈴木 弘行	呼吸器外科	部長	25年	
竹之下 誠一	消化管外科	部長	39年	
後藤 満一	肝胆膵・移植外科	部長	39年	
大竹 徹	乳腺外科	部長	25年	
後藤 満一	小児外科	部長	39年	
鈴木 眞一	甲状腺・内分泌外科	部長	32年	
横山 斉	心臓血管外科	部長	32年	
齋藤 清	脳神経外科	部長	35年	
紺野 慎一	整形外科	部長	31年	
上田 和毅	形成外科	部長	38年	
藤森 敬也	産科	部長	27年	
藤森 敬也	婦人科	部長	27年	
細谷 光亮	小児科	部長	32年	
石龍 鉄樹	眼科	部長	31年	
山本 俊幸	皮膚科	部長	27年	
小島 祥敬	泌尿器科・副腎内分泌外科	部長	20年	
大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	部長	30年	
矢部 博興	心身医療科	部長	32年	
宍戸 文男	放射線科	部長	41年	
村川 雅洋	麻酔・疼痛緩和科	部長	35年	
橋本 優子	病理診断科	部長	23年	
長谷川 博	歯科口腔外科	部長	27年	
田勢 長一郎	救急科	部長	39年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	病院長 紺野 慎一
管理担当者氏名	医療情報部長 向本 時夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部等	患者ごと又は記録ごとに分類し管理・保管している
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院経営課	記録ごとに分類し管理・保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	教育研修支援課	
	閲覧実績	病院経営課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携・相談室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	記録ごとに分類し管理・保管している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療連携・相談室	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	記録ごとに分類し管理・保管している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全管理部会	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全管理部会	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全管理部会	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全管理部会	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 紺野 慎一	
閲覧担当者氏名	病院経営課長 齋野 和則	
閲覧の求めに応じる場所	病院棟3階 病院経営課	
閲覧の手続の概要 閲覧の請求があった場合は、院内の規定に基づき諸記録の閲覧もしくは提供を行っている。		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1 安全管理に関する基本的考え方 2 医療事故防止対策委員会、その他の組織に関する基本的事項 3 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： ・ 委員会の管理及び運営規定の策定・改定 ・ 院内のインシデント・アクシデント事例の分析及び対策 ・ 医療安全に関するマニュアルの改定	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年4回
・ 研修の主な内容： 全職員を対象に下記の研修を実施した。 1 医療安全、感染対策、医薬品、医療機器に関すること（2回） 2 RRS (Rapid Response System) について 3 チームSTEPPSについて	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 当院で発生した事故を委員会に報告する。 2 当院の「医療事故防止マニュアル」に従い事例の収集・分析を行う。把握された問題点について病院組織として改善策を策定し、必要に応じ実施状況を調査する。これらの情報は院内に周知を図っている。 3 重大な事故発生の場合は、速やかに管理者へ報告する。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有（3名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任（4）名 兼任（5）名 ・ 活動の主な内容： 1 医療安全に関する委員会等の運営、支援 2 インシデント・アクシデント情報の収集・調査・分析 3 重大なアクシデント発生時の調査・報告 4 医療安全研修会の実施 5 医療安全に関する情報提供 6 院内巡回の実施 7 医療安全に関する相談 8 医療安全に関する院内の連絡調整	

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

有・無

(様式第6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1 感染管理に関する基本的な考え方2 院内感染管理のための委員会等3 院内感染管理のための職員研修4 感染情報等に基づく院内感染管理を目的とした改善方策5 院内感染発生時等の対応6 患者等に対する本指針の閲覧7 その他	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 毎月の耐性菌検出状況及び感染症発生状況の報告・ 毎月のICTラウンド結果報告・ 各種院内感染対策マニュアル改定案の協議・承認・ アウトブレイク事例・ICT介入事例報告・ 各種サーベイランス結果報告・ 職員研修実施状況報告	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年19回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 新採用者研修：（標準予防策・感染経路別予防策・職業感染予防策等の講義及び実習）・ 院内感染対策研修（外部講師）：感染対策の重要ポイント・ 医療安全・感染管理合同研修：感染性胃腸炎と感染予防対策について・口腔ケアについて・ 一類感染症研修（エボラウイルス感染症）・ E-learning（スタンダードプリコーション・感染経路別予防策）・ 委託職員研修（感染予防の基礎知識等） <p style="text-align: right;">等</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 病院における発生状況の報告等の整備（有・無）・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ ICTラウンドによる現場状況チェックと改善指導・介入及び結果確認（定例：1回/週、その他耐性菌新規検出時随時ラウンド実施）・ 各種感染対策マニュアルの見直し・改訂作業・ 抗菌薬適正使用に向けた指定抗菌薬の使用状況把握と抗MRS A薬のTDM実施及びこれらの情報に基づく抗菌薬コンサルテーションの実施・ BSI/UTI/VAE/耐性菌のサーベイランスによる問題抽出と分析、対策のフィードバック	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 1 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項 2 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項 3 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (①・無) ・ 業務の主な内容： 1 医薬品の採用・購入に関する事項 2 医薬品の管理に関する事項 3 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6 他施設との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品に係る情報のうち、必要なものは当該情報に係る医薬品を取り扱う従業者に迅速かつ確実に周知徹底を図る (ex. DIニュース、医療安全ニュース、院内報)	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年1.06回
新規導入機器、特定保守高度管理医療機器、その他病棟内新人職員を対象とした研修等の実施	
・ 研修の主な内容： 1 医療機器の有効性・安全性に関する事項 2 医療機器の使用方法に関する事項 3 医療機器の保守点検に関する事項 4 医療機器の不具合等発生した場合の対応に関する事項 5 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (○有・無) ・ 保守点検の主な内容： 夏期点検 毎日点検 1 患者使用後点検 1 回/年 (業者による点検) 等	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 添付文書等の管理 2 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) からの医療機器に係る安全性情報等を臨床工学センタ ーより当該医療機器に携わる者に適切に提供する 3 病院管理者への報告	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機能認定 (平成 18 年 12 月 18 日)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページ、パンフレット等で先進医療や各診療科の内容について情報の発信を行っている。 また、法人として企画広報浅酌推進室を設置し、効果的な広報・情報発信の方法について検討を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 整形外科と精神科における定期的なカンファランスの実施。	